

Ⅱ 学校教育目標と経営計画

1 令和8年度 学校教育全体計画

1 学校教育目標

自律の精神の確立と主体的に学ぶ生徒の育成

- 自 律 ⇒ 社会のルールに則って、自らの発言や行動を適切に律すること
- 主体的 ⇒ 自分の意志・判断に基づいて行動すること

2 学校経営方針

【ミッション】(自校の使命)

社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成

【ビジョン】(自校の将来像)

生徒が安全で安心して有意義に過ごせて、社会人として必要な資質・能力を身に付けられる学校

○安全で安心して ⇒ 嫌な思いをしないで、心配事もなく、学校生活を送ることができる。

嫌なことがあっても、みんなできちんと解決できる。

自分の思いや考えを安心して表現できる。

○有意義に過ごせて ⇒ 授業を受けて、「わかる」「できる」を実感でき楽しいと思う。仲間とともに、学校行事や諸活動を行い、「達成感」「充実感」を感じて楽しいと思う。

○社会人として必要な資質・能力 ⇒ 知識及び技能、思考力、コミュニケーション能力、主体性、自らへの自信、レジリエンス

3 めざす学校像

- 安全で安心して有意義に過ごせる学校
- 笑顔を忘れず、明るく温かく人に接し、「ありがとう」があふれる学校
- 夢を志に高める学校
- 自信をもち光り輝いて行動し、活力のある学校

4 めざす生徒像

- 何事にも果敢に挑戦し、わからなくてもできなくても粘り強く取り組み、最後まで諦めない生徒
- 誰にでも明るく笑顔で接し、心温かく行動する生徒
- 向上心を常に持ち、夢を志に高める生徒
- 自分に自信を持ち、主体的に行動し、光り輝く生徒

【育成をめざす資質・能力】

知識及び技能、思考力、コミュニケーション能力、主体性、自らへの自信、レジリエンス

5 めざす教職員像

- 生徒の手本となる教師。生徒に求めることは自らも行う。(挨拶、対話、挑戦等)
- 丁寧な生徒指導の徹底。(適切な言葉かけ、詰問から受容へ、支援する態度を全面に)
- 生徒に、少しでも「わかる」「できる」を実感させるため、積極的に授業改善を行う教職員
- 豊かな人間性と高い倫理観を備え、教育実践に努める教職員
- 志を高く持ち、達成に向けて自分の強みを生かし果敢に挑戦し続ける教職員

6 令和8年度の重点

(1) 令和8年度「学習のつまずき等を踏まえた学習指導と生徒指導の一体的推進プロジェクト」の推進

- 研究テーマ 「主体的な学びを促進し、学力の向上を図る授業づくり」
～「深い生徒理解」を基盤にした「話し合い活動」、「振り返り」の充実を通して
- 教育研究と生徒指導の一体的な授業改善による確かな学力の定着と学力向上
 - ① アセスメントによる生徒理解の充実
 - ② 「本郷中スタンダード」(授業モデル)の活用
 - 学習環境の整備 整ってなければ、即直させる指導を行う。
 - ・ごみは落ちてないか・机上の整理整頓・ロッカーの整理整頓・黒板はきれいかな等
 - 学習意欲を引き出す導入の工夫
 - めあての提示(見通しをもたせる)
 - 話し合いの活動の充実のための手立ての実施
 - ・話し合いの場面の工夫(人数、役割分担、机間指導等)
 - ・教師のファシリテート力の向上。(説明を少なくし、生徒の活動場面(書く場面・表現する場面・ペアや少人数グループ)を設定する。(めあてを達成させるために)
 - めあてに対するまとめ(自分の言葉で表現)をする。
 - 振り返りの実施・充実。R80の充実
 - R80記入→ペア等での振り返り→全体への発表(1, 2名)→教師からの価値づけ
 - ③ 「主体的な学び」の実施 → 「課題発見・解決学習」の実施・改善
 - ④ ICT機器の活用 → クロームブックの効果的活用
 - ⑤ 「家庭学習」の充実 → 「本G0ノート」の効果的な活用と統一した組織的な取組
学ぶ目的意識をもたせ、学習時間と学習内容の向上
学年団での各教科における学習課題の共有、調整
 - ⑤ 「研究授業」の実施 → 1人1研究授業(指導主事等の指導者招聘)

(2) 学校生活全般での積極的な生徒指導

①生活三訓の徹底

- 「挨拶をしよう」 → レベル3(自分から会釈して)
授業の始め終わり(先言後礼)
- 「時間を守ろう」 → 朝遅刻ゼロ
1分前着席(教師は鳴る前に教室へ)
全校朝会(無言集合)
- 「身辺服装を整えよう」 → 自転車置き場「日本一」
靴箱 ロッカー トイレのスリッパの整理整頓
定期的な身なり検査

②学習規律の徹底

- 「黙想」の徹底 → 立腰をさせる。粘り強く指導。
- 「学習態度」の指導 → 寝る・伏せる・肘をつく・私語をさせない指導

③自治的活動の推進

- 「生徒会活動」の活性化 → 挨拶運動
自律的点検活動(勉強時間・スリッパ・牛乳等)
- 「ボランティア活動」への参加 → 献血・河川清掃等

④相談活動の推進

- 学期毎のいじめアンケート実施後、担任との面談時間の確保
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる
個人面談、教職員との情報共有、関係機関との連携

⑤組織的な生徒指導体制の徹底

- 生徒指導主事に情報を集め、管理職への報告・相談し、
組織としての方向性を確認して、取組や指導を行う

⑥集団づくりの推進

- 互いに認め合い、高め合う学級・学校集団づくり